

2012年度

学校だより 第15号

2012(平成24年)年8月11日

ヒューストン日本語補習校

長野県 佐久市中学生来校 8/4

1年生3名2年生4名3年生1名引率者4名の佐久市中学生海外研修団が8月4日に来校しました。

昨年は引率者のみの来校でしたが、「今年は是非補習校のみなさんとの交流を」とのことで、実現しました。

一行はこれまでライス大学、NASA等を訪問し、施設訪問としては補習校が最後とのことでした。



(玄関前で記念撮影)

当日は2校時に中学部当該学年教室でいっしょに授業を受けていただき、3校時は中学部3年生と研修団8名との座談会を行いました。

～座談会～

自己紹介のあと次のような質問がなされ、補習校生徒は英語と日本語訳で答えていました。

- ・英語をどのようにしておぼえたか
- ・日米の学校の違いは
- ・米の学校は楽しいか
- ・現地校補習校どちらが楽しいか
- ・現地校のお昼は

～研修団員の感想から～

- ・フレンドリーな人たちで、気を楽にして授業を受けられた。休み時間も多くの人と話ができた。
- ・沢山のひとと会ってみて、日本人だけれど英語がペラペラだったのでうらやましかったです。来て良かった。
- ・ここの人達はみんなフレンドリーな感じで、住所なども交換でき、充実していて楽しかった。
- ・授業を進めるペースがすごくはやいと思った。

学校文集などが入選

「第六十一回全日本文詩集表彰」

学校実践賞 (学校で全職員が作文教育に取り組み、その成果が顕著な文集) 学校文集ブルーボンネット第36号

編集創意賞 (編集に積極的な創意の見られる、また、子どもや父母・教師などが有効に活用できるように工夫されている文集)

平成23年度卒業文集 (恩田先生)

学級通信賞 (子どもの作品を効果的に生かしながら、教室の活動を具体的に示し、学級の成長のあとがよく見られる文集)

すばる 1B学級通信 (佐藤先生)

学習文集賞 (教科学習等で書いた作品が含まれており、書くことで子どもたちの学習を深める過程が見られる文集)

平和の遺伝子 戦争の語り部たち (佐藤先生)



継続実践賞 (不断に継続的に発行されており、その努力の成果が表れている文集) 学校だより 86-127号 中島前校長先生

転入生

幼星	野口	慶十	8/4
幼宙	宮田	瑛右	8/11
小1A	松本	彩花	8/4
小1B	河村	めい	8/11
小1C	轟木	繪印	8/4
小5A	印南	楽々	8/11
小5B	松本	慧	8/4
小6A	黒丸	碧	8/4
小6B	轟木	玲伊	8/4
中2	印南	萌々	8/11
高2	黒丸	栞	8/4

6年A組 旧担任 小松先生挨拶

補習校の門をくぐってから四半世紀が過ぎました。

その間、十人の校長先生と五百人近い児童生徒と巡り会いました。子ども達の一人ひとり、咄嗟には思い出せなくても全員覚えています。幼稚園から高校まで頑張った生徒達、大学生になって遊びにきてくれる生徒達、中には高校生だった生徒が保護者となって登校する例もいくつかあり、喜びと共に改めて時の流れを実感することもあります。私自身、子どもと三人で通った時期もあり、週末が近づくと自分の仕事、子ども二人の宿題の点検、当日朝は三人分のお弁当を作るのに大わらわだったことも懐かしい思い出です。補習校は私の生活において、切っても切れない骨肉のようなものでした。土曜日の補習校を中心に一週間のリズムが刻まれ、毎週毎週動いていました。そのリズムが急に止まった今、気持ちばかりが空回りしているように感じられます。

この度、不慮の事故により両肩の骨折を負い長期欠勤をしていましたが、日本の医師から後二か月の安静療養と診断されました。復帰しても、高齢の両親にいつ何が起こっても不思議ではない状態であることも考え、退職を決意しました。

今まで長い間勤務できたのも、素晴らしい子ども達、保護者の皆様のご協力、校長先生始め教職員の皆様の支えと、この25年に築き上げられてきた素晴らしい学校運営あってのことです。心から感謝してやみません。

ヒューストンにはまだいますので、また何かの機会にはお目にかかれることもあると楽しみにしています。

◆パトロール当番予定表8月18日◆

～よろしくお祈りします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小4	31	ウリアムズ 新菜
2		33	竹内 健人
3		34	安達 日菜乃
4		35	浅野 大輝
5		36	中村 結花
6		37	森 勇一朗
7		38	寺田 怜矢
★PM1リーダー	小4	39	竹崎 陽也
2		40	小松 彩夏
3		41	柿仲 美咲
4	小5	1	ワブライエン 安那夢
5		2	森岡 優
6		3	安達 瑠花
7		4	木村 瑠

(先週の続き)「好きな食べ物の推薦文」より

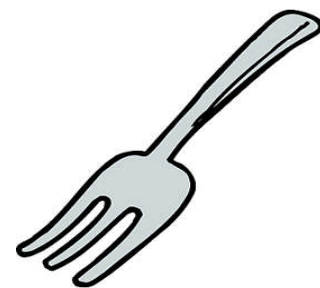
「母特製のカルボナーラ」

中学1年A組 前田 明里

私の大好物の一つに、土曜日ソフトボールの後、無性に食べたくなる母特製のカルボナーラがあります。

それはぽつりとお皿の真ん中にのった卵の黄身が、白いパスタに映えて、パセリやベーコンで彩り鮮やかで食欲をそそります。とろみがあるクリームソースと、かたすぎずやわらかすぎないパスタとの相性はバツグンです！濃厚なミルクの香りをただよわせながらも、程よくあっさりしたクリームソースの味がして私のお気に入りの料理です。

まだ自分では作れないけれど、いつか自分でもおいしいカルボナーラが作れるようになりたいです。



6年A組 新担任 久次米先生挨拶

初めまして。お子様の現地校でのご進級、ご進学おめでとうございます。このたびご縁があつて、6年A組、小松倫子先生の後任をさせていただくこととなりました久次米康子でございます。

ワシントン州シアトル日本語補習校では、12年間勤務させていただきました。6年間ほど教壇より遠ざかっておりましたが、今回のお話をいただき新たな気持ちで取り組みたい所存でございます。

至らぬ点多々あるかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. 713-365-4909 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org

Home Page: www.jeihouston.org

慣れてきた Wilchestr での授業はあと1回(18日)となりました。9月1日からは Westchestr での授業となり、上記電話番号も713-973-0659にもどります。

(文責 : 校長 山岡 清孝)